

## 議会報告会 実施報告書

実施日時 ・ 会場	令和7年11月 7日（金）18：30～20：00	北公民館
	11月 8日（土）14：00～15：30	東浦公民館
	11月11日（火）18：30～20：00	栗野公民館
	11月12日（水）18：30～20：00	愛発公民館
	11月13日（木）18：30～20：00	中郷公民館
	11月15日（土）18：30～20：00	松原公民館
	11月18日（火）18：30～20：00	西公民館
	11月19日（水）18：30～20：00	東郷公民館
	11月20日（木）18：30～20：00	南公民館
来場者数	計 89 人（北公民館 7 人、東浦公民館 5 人、栗野公民館 12 人、愛発公民館 15 人、中郷公民館 5 人、松原公民館 16 人、西公民館 5 人、東郷公民館 12 人、南公民館 12 人）	
役割分担	別紙 1 参照	

### 1 開催状況

今年度は、より多くの市民に議会活動や市政について知ってもらうため、議長を除く 21 人の議員が 3 グループに分かれ、市内 9 カ所の公民館で議会報告会を開いた。第 1 部では、市議会の役割・仕組みについて説明した後、各常任委員会からは「新清掃センターの建設について（総務民生常任委員会）」、「金ヶ崎周辺整備について（産経建設常任委員会）」、「市立敦賀病院の経営について（文教厚生常任委員会）」、議会運営委員会からは「敦賀市議会ハラスメント防止条例について」をテーマとして報告した。

第 2 部では、第 1 部の各委員会からの報告内容と、市議会・市政全般について参加者と意見交換を行った。

### 2 意見交換に関する質問・意見及びその回答

#### （1）令和7年11月7日（金）北公民館

##### 【新清掃センターの建設について】

質問 1：事前のボーリング調査で、障害物があるかどうかは分かっていたのか。

回答 1：当初適正にボーリング調査をした上で、工事を進めていけるだろうと目論んでいたところ、実際工事を行い掘り起こしてみると障害物があった。ボーリング調査は適正にされていることは確認している。

質問 2：敦賀市と美浜町の負担割合はどのくらいか。

回答 2：美浜町が 24%、敦賀市が 76%

質問 3：他市町と比較して、何か特色はあるか。

回答 3：これまでなかった機能としては、排熱を生かしてボイラーを回し発電し、外に売るまでの電気量はできないが、できた電気を少しでも新清掃センターで必要な電気として使用し、購入しないといけない電気量を抑えるといった仕組みがある。

質問 4：地元振興策で地元にどれくらいお金が落ちているか。

回答 4 : 櫛川会館は新しく新設され稼働している。金額ははっきりと覚えていない。

質問 5 : リチウムイオン電池を探し出すような装置を使うとか、何か対策はしないのか。

回答 5 : 回収する箇所を増やすことや、分別についてより周知・啓発を徹底していることは認識している。

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 6 : 前田建設工業と協定を組んでいるのか、いつまでの計画なのか、また敦賀市は駐車場を作るなど進めているが今後アクアイグニスや前田建設工業にけられるようなことはないのか。

回答 6 : 計画を見せてほしいと投げかけをしたまま、現在も止まっている状態で、市民の方からもそういった意見を頂戴したということを持ち帰りお伝えしたい。

質問 7 : クルーズ船を呼び込むために、金ヶ崎周辺を活用すると考えたほうがいいのか。

回答 7 : 川崎に市の施設でコンテナフレートステーションという建物がすでにあるのでそれをうまく活用できないかと一般質問をしたところで、また持ち帰りご報告したい。

【市立敦賀病院の経営について】

質問 8 : 医者への対応が悪い。自分の仕事ばかりして、患者のほうを向いて仕事しているとは思えない。

回答 8 : いただいた意見を持ち帰りお伝えさせていただく。

質問 9 : 敦賀病院で検査したが、検査結果を伝えられないまま「紹介状書くから大きい病院に行って」と言われたことが頻繁にある。設備が良くても医者の質が悪かったら赤字のままではないか。

回答 9 : 中期経営計画の概要版の中に、地域がん診療連携拠点病院として、診療実績を増加させるという記述があり、この新しい計画を作る中でどうなっていくのか、また乖離していないか、といったご意見を踏まえて質問していきたい。

【敦賀市議会ハラスメント防止条例について】

質問 10 : 相談窓口は、第三者機関か利害関係のないところを設けないのか。

回答 10 : 第三者機関を設けようと思うとお金がかかるなど、いろんなことを考えまずはこのような形でスタートをし、運用する中で課題が生じたときに再度考えることにさせていただいた。

【その他】

質問 11 : 議会で「君」呼びから「議員」呼びになったのはなぜか。

回答 11 : いろんな方からの意見もあり、議長も同じ思いであることから実現した。

質問 12 : カスハラに対して、議員はどう思っているのか。

回答 12：市職員同士については、投げかけをしている状態で市のほうで検討されていると理解している。

質問 13：事前に誰がどんな一般質問をするのか内容が知りたい。

回答 13：新聞等で掲載して告知をするためには高額なお金がかかることから、お金を出してやるべきことなのかと断念している。

質問 14：地区の防災訓練に議員は参加しないのか。

回答 14：議員全員で行けるかはわからないが、持ち帰り、各議員の今後の活動に活かしていきたい。

(2) 令和 7 年 11 月 8 日 (土) 東浦公民館

【新清掃センターの建設について】

質問 1：新清掃センターについて、美浜町との共同での建設とのことだが、敦賀市と美浜町との費用は折半なのか。ゴミ収集車が美浜町から来ることで高校生や中学生の通学に支障が出ないのか、積雪時の道路の混雑は起きないのか。また、美浜町は敦賀市と同じゴミ袋を利用しているのか。

回答 1：費用負担は敦賀市が 76%、美浜町が 24%となっている。収集環境についてはゴミ収集車専用の道路を建設したりしている。現在すでに美浜町と統一した同じ袋で、同じ分別で行っている。

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 2：敦賀駅～金ヶ崎への廃線跡を敦賀市が購入したということか。どのような利用をするのか。

回答 2：敦賀港線跡地の活用については、ただ今検討中である。市民の意見を、ワーキング等を実施して取り入れていきたい。

【市立敦賀病院の経営について】

質問 3：敦賀病院の 10 億円の赤字は今後も続くのか。

回答 3：病院側も人件費、物価高、薬価高に苦慮している。今後の診療報酬の改定等により改善できるのかは定かではないが、議会としても注視していく。

【その他】

質問 4：議員定数削減要望を区長連合会から提出してあるが回答がない。いつになるのか。

回答 4：12 月 18 日に連合会長に回答する予定。

質問 5：中郷地区の児童クラブの整備が遅れている。どうなっているのか。

回答 5：まだ結論が出ていない。持ち帰ってしっかり議論させていただく。

質問 6：獣害対策について伺う。みかんの葉を食べる鹿の駆除をして欲しいがいつも予算が足りないと言って数頭の駆除で終わっている。もっと予算を付けて獣害対策をやって欲しい。

回答 6：議員からも農林水産振興課へ頻繁に予算増額を伝えている。市の予算だけでなく国

の森林環境譲与税等の活用もするように要望している。

質問 7 : リラ・ポートの運営について質問する。多額の指定管理料を支払っているのはどうかと思う。提案としてプールはなくしたほうがいいのか。

リラ・ポートとリラ・グリーンは分けて経営したほうがいいのか。

リラ・グリーンの回数券を午前、午後と分けて行ったほうがいいのか。

リラ・グリーンの 4 つのコースのうち C コースと D コースは夏場暑いので桜の木を植えた方がいいのか。また、リラ・グリーンは冬場閉鎖するが、近年暖冬なので利用できると思う。開けてもらえないか。高齢者の健康づくりと生きがいづくりのためにお願いしたい。

回答 7 : いろいろと温泉にはメンテナンス経費がかかる。また、リラ・グリーンについても今日受けた質問要望については、議会として提案して、今後指定管理者と検討するようにしていきたい。

(3) 令和 7 年 11 月 11 日 (火) 栗野公民館

【新清掃センターの建設について】

質問 1 : 最終処分場を美浜町と共同で整備したが、清掃センターについても美浜町と共同で建て替えるのか。

回答 1 : その通り。最終処分場は完成した。赤崎がいっぱいになると供用開始する（現在すでに供用開始済み）。清掃センターは岩盤が硬くて完成は少し遅れる。

質問 2 : 美浜町と共同とのことだが、費用負担の割合は。

回答 2 : 敦賀市 76%、美浜町 24%。

質問 3 : リチウムイオン電池について、捨て方がわからない人も多いと思う。都会では、リチウムイオン電池をセンサーで分けているが、敦賀でもできないのか。

回答 3 : 持ち帰らせてもらい、議会で検討して市に提言する。

質問 4 : 清掃センターへの持ち込みの料金はどうか。

回答 4 : 細かく設定されるようになるが、混乱を生じるので決まるまで公表できない。

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 5 : オーベルジュに市民がどれだけの人が行くのか疑問。市民の税金でできることとして、物価高騰で大変な市民に還元できる事業をお願いしたい。金ヶ崎周辺の事業は、日々の生活を精一杯生きている人の生活との乖離を感じる。

回答 5 : 金ヶ崎緑地は県の管轄で、オーベルジュは民間、鉄道公園は敦賀市であり、分けて考える必要がある。開発することで固定資産税が入り、増収につながり、市民サービスに還元できる。

【市立敦賀病院の経営について】

質問 6 : 敦賀病院の電源は地下にあるため、敦賀病院の職員から雨が降ったらドキドキすると聞いた。笹の川が氾濫したら機能を果たせなくなるのではないのか。

回答 6 : 建設当時から問題になっていたが、結果的に地下になった。今から、電源を上げることは難しい。笙の川が氾濫しないよう県が河川工事を進めている。

質問 7 : 病院内のハラスメントはどこが管轄か。職員が補助の方をいじめている。敦賀病院でもハラスメント対策は必要ではないか。

回答 7 : 議会としても言えるが、職員の問題として市が対応することが必要。

質問 8 : 敦賀病院の本館 7 階が雨漏りする。新しく建て替える等して欲しい。  
また、敦賀病院のお風呂は、タイル張りで冷たい。何とかできないか？

回答 8 : 敦賀病院に伝える。

意見 1 : 敦賀病院の経営が難しくなっているなら、富裕層を人間ドックで招いたらどうか。

意見 2 : 敦賀病院だけではなく、全国で病院が倒産しているが、介護も同じ。介護事業所の実態を知っていただいて、対応をお願いしたい。

#### 【その他】

質問 9 : 区長連合会から議員定数の削減について言われて減らしてきた経緯があるが、更に減らすよう言われている。どう受け止め、どうしようとしているのか。

回答 9 : 議会としては、常任委員会が 3 委員会あり、議論するのに一般的に 7 ～ 8 名が必要とされているため 21 名、議長を入れて 22 名とする結論を出している。  
要望については、議会の代表者会議で結論を出し、区長連合会に返すところだが、日程が合わず回答できていない。今後については確認中。

質問 10 : 請願、陳情を各会派で議論して結論を出していると思うが、どうか。

回答 10 : 敦賀市議会には 5 つ会派あり、会派の中でも違う意見はあるが、話し合って答えを出している。

意見 2 : 議会報告会に初めて参加する。議会を知る良い機会なのに、参加者が少ないのが課題。

#### (4) 令和 7 年 11 月 12 日 (水) 愛発公民館

#### 【新清掃センターの建設について】

質問 1 : 新清掃センターの建設後は、敦賀市と美浜町の共有となる。費用配分はどの様になるのか。

回答 1 : 負担割合は敦賀市 76%・美浜町 24%で、現状から発電収入を引いた金額となり、敦賀市は概算で 3 億 4000 万円程度となる。従来から約 1 億円の削減が見られる。

質問 2 : リチウムイオン電池の公民館回収は困難である。従来からのリチウムイオン電池の回収を地域のゴミステーションでできないか。

回答 2 : ・リチウムイオン電池は危険性があり、分別の意識付けのために回収場所を指定した。従来の地域回収は困難であるが要望は伝える。  
・地域回収では安全が担保出来ないので、ご理解をいただきたい。

#### 【金ヶ崎周辺整備について】

質問 3 : 金ヶ崎周辺整備については前向きな取り組みは理解するが、三重県の「VISON (ヴィソン)」は多気町が挙げて、食品メーカー等の応援があり、集客については伊勢神宮から 30 分で、近場にスマートインターがある。ホテルの景観、地元の野菜の活用等、敦賀も知恵を絞ってほしい。レストラン・ホテルの誘致が難しいのでは。知っている状況を説明してほしい。

回答 3 : ・敦賀市金ヶ崎地区及びその周辺エリアを含む敦賀市内に宿泊機能付きレストラン(オーベルジュ)等の賑わい創出施設を整備する協定を、敦賀市と前田建設工業株式会社、株式会社アクアイグニスとの 3 社で 3 年前(2022 年 3 月 22 日)締結するも、資材の高騰等により収支計算を検討中であると聞いている。要望するも現在も提出に至っていない。

・前田建設工業は美浜町出身の会社であり、社長の祖父は敦賀セメントの創業者で、敦賀に対しての思い入れがある。何とか敦賀で賑わいの元となることできないか、当然収支という課題はあるが社長としての思いがあり福井県、敦賀市と話し合いを進めていることをお伝えしたい。

質問 4 : 金ヶ崎緑地について、敦賀市議会としての問題点(使い方)が上がってきていない。福井市のアリーナの状況も踏まえて検討してほしい。

回答 4 : オーベルジュに関して各議員においても、実際にどのくらいの観光客が来るのか(新幹線開通で 120~130%増加)、近くの赤レンガ倉庫が 12~13 万人ぐらいしかないところで、果たしてオーベルジュで集客出来るのかとの議員の声もある。頭からの反対はないが、不安な気持ちはある。金ヶ崎緑地は市民の憩いの場で活かしていくのか、観光施設としていくのか不安なこともある。

質問 5 : 金ヶ崎のオーベルジュが出来なかったときのことを考えているのか。

回答 5 : ①金ヶ崎緑地は福井県の土地である。公園部は公園として整備は進める予定である。

②敦賀市は旧 J R 貨物(コンテナ)の土地を購入(6 億 7000 万円)し、鉄道公園整備全体で 20 億円ぐらいの計画を進めている。

③旧敦賀港線については現在検討中で決まてはいない。県外の廃線の活用事例を視察したことがあるが、赤字とのことだった。

質問 6 : 金ヶ崎の検討には商工会議所の関わりはあるのか。

回答 6 : 金ヶ崎の検討は、福井県、敦賀市、商工会議所の 3 者で進めている。

#### 【市立敦賀病院の経営について】

質問 7 : 市立敦賀病院で必要な医師がいないことが敦賀市の課題ではないか。医師の確保はどうしているのか。(敦賀の患者さんは嶺北にいつている)

回答 7 : 医師の確保は大事であることは議会、市長も理解している。金沢大・福井大を通じて必要とする医師を確保している。また、例えばがん患者を福井市ではなく敦賀病院で対応するといった、医療資源の完結が出来れば良いが、敦賀病院の維持のためには、分業の中で連携することも必要だと考える。(敦賀病院は急性期を中心にやっている。)

質問 8 : 敦賀病院はかかりつけ病院としては初診の方は敷居が高いと考える。

回答 8 : かかりつけ制度(町医者)は、国の医療の仕組みで変更は困難。

【敦賀市議会ハラスメント防止条例について】

質問 9：敦賀市議会ハラスメント防止条例について、各個人によって受け止め方が違うと思う。個人ではなく議長の判断も含めて、第三者委員会は考えていないのか。

回答 9：可能性・必要性については、議会運営委員会で議論されたが運用を優先した。不都合があれば見直しをしていきたい。

【その他】

質問 10：原子力災害に対する、避難病院の機能(災害時に治療する)に対して、国の補助は受けられないのか。

回答 10：国の補助制度がある。過去より原子力の立地のため、多額の三法交付金、原子力発電所から補助金・寄付金をいただいていたが、現在は財源に 40～50 億円の投入の環境にはなっていない。  
県の原子力災害拠点病院の指定病院は 3 箇所あるが、嶺南には指定病院はない。今後県のほうには確認をしていきたい。

質問 11：①原子力防災避難訓練で黒河小学校と愛発公民館に集まり、敦賀インターに向かうルートを議員の皆さんは承知しているのか。また、何人参加されているのか。参加されて問題点を把握することが一番と考えるが、議会として今後どの様にしていくのか。

②敦賀インターに向かう(より発電所に近い方向に行く)ことはおかしくないのか市議会として追求してほしい。実態を把握してほしい。

回答 11：①直近に開催された原子力防災訓練は参加しなかったが、他の防災訓練には参加している。また、広域避難訓練として奈良県にも行っている。今後も避難訓練に参加し、問題点を把握するよう努める。

②訓練の想定は事前に決めているが、ルートについて県、市に改めて確認する。

質問 12：敦賀駅の西～東口の往来に 160 円がかかる。建設当時に東西通路を作らなかったのか。JR からの打診はあったが作らなかったのか。今後は通路の必要性を議会としてどのように考えているか。

回答 12：・現時点では困難。当時、市議会から提案もしたが、多額の費用に対する費用対効果にも問題があった。現在、東西の往来は交通系 IC カードによる一定時間での通過による検討を JR と進めている。新たに通路を作るのではなく、現実的方法を模索している。

・以前市長への一般質問で通路を作るのに 50 億円かかり、実際に何人が利用するかの費用対効果が問われた。また、東西を結ぶ連絡バスを(4 往復/1 時間)走らせたが、最後は誰も使用しなかった。

質問 13：愛発地区の一番の問題は、過疎化・高齢化である。(以前からドローンでの配送もやっている) 高齢化により病院の通院の足として、ライドシェアによる民間運転手を活用した対応がスタートしているが、買い物等への対応も考えてほしい。

回答 13：市の新しい実証事業として、75 歳以上の高齢者などを対象に、通院目的でタクシー利用の運賃半額を補助する「おでかけタクシーとんとん号」が 2025 年 11 月から始まる。今後は実証事業の結果により、デマンド交通、ライドシェア等につながるように議会としても一般質問等を通じて確認していく。

(5) 令和 7 年 11 月 13 日(木) 中郷公民館

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 1 : 旧敦賀港線跡地はどのように利用するのか。

回答 1 : 貨物コンテナの待機エリアは、(仮称) 敦賀みなと公園として整備予定。廃線敷跡についてはこれから市民の皆さんの意見をいただいて検討していく。

質問 2 : 廃線敷跡については、整備せずそのまま利用してはどうか。

回答 2 : 貴重なご意見として参考にさせていただく。

【市立敦賀病院の経営について】

質問 3 : 敦賀病院を黒字化するとあるが、午前の診察は混雑している。  
患者数を増やすということは午後も診察枠を設けるということか。

回答 3 : 赤字の原因は、人件費や物価の高騰に対し、診療報酬が低すぎる場所にあると思う、診療報酬を 2 倍、3 倍にする必要はないが、国との関係性も考えて長期的に見ていきたい。

質問 4 : 診療報酬が低いのは全国的な話であり、敦賀病院には関係ないのではないか。

回答 4 : 物価高騰に見合う診療報酬があれば、経営もよくなると思う。ただ健康保険料との兼ね合いもあるので、どこまで上げるかは慎重に判断したい。

質問 5 : 敦賀病院は何故赤字ではダメなのか。

回答 5 : 病院は地域にとって必要なものなので、赤字であれば一般会計から補填することになる。それが大きければ他の市政に影響が及ぶので、赤字はなるべく縮小するという姿勢が大事だと思う。

質問 6 : 黒字になる分野ならば民間に任せればよいと思う。黒字化にこだわって病院の労働環境が悪くなるようなことは避けて欲しい。

回答 6 : 民間の病院では 365 日 24 時間の救急対応等は難しく、公営で行う事業であると考ええる。その最後の砦を持続させるためにも黒字を目指す姿勢は大事と考える。

【その他】

質問 7 : 国道 8 号の岡山交差点付近に横断歩道のない箇所がある。警察に言っても動いてくれない。

回答 7 : 区長さん個人でお願いするのではなく、学校の P T A 等の団体と連携して要望を伝えるのも一つの方法だと思う。

質問 8 : ムゼウムのポスターが市から年 3、4 回届くがサイズも大きく邪魔であり、必要ないと思う。

回答 8 : 担当課に確認する。

質問 9 : 道の駅に対する考えを聞きたい。

回答 9 : 道の駅については好調な道の駅と不調な道の駅で明暗がはっきり分かれている。米澤市長も公約にしているので、前向きではあるが、敦賀にとってプラスになる道の



駅とするために慎重に判断したいと思う。

質問 10：国道 27 号につながる県道でトラックが渋滞し危険な箇所がある、過去には死亡事故も起きているので対応して欲しい。

回答 10：当該箇所を確認する。

質問 11：最近ドラッグストア等の小売店が増加傾向にあるが、敦賀市産の農作物は販売されていない。このままでは敦賀の農作物の売り上げが低下するのではないか。またそれら小売店の売り上げは敦賀市に入ってくるのか。

回答 11：敦賀産農作物については J A と相談して敦賀の農家が困らないように対応したい。また小売店の売り上げは税金として敦賀市の収入になる。

(6) 令和 7 年 11 月 15 日 (土) 松原公民館

【新清掃センターの建設について】

質問 1：新清掃センターではお金の支払い等で車から降りなくていいのか。また、リチウムイオンバッテリーの処理について広報が足りないのではないか。

回答 1：車から降りなくてよい。リチウムイオンバッテリーの処理については先進自治体の例も踏まえながら問題意識を議員間で共有し、市に提言していく。

質問 2：新清掃センターに発電機能を追加とあるが、現在も発電されているのか。  
また、受け入れ時間の増加とあるが、算定根拠は。過去の経緯を踏まえ発言するが、排熱を利用した入浴施設は作らないのか。  
また、櫛川集落により近づくが、そこについて、排煙等問題ないのか。

回答 2：現在は発電されていない。また、あくまでも計画だが、土曜日の午後も稼働するというので、受け入れ時間が増加する見込みである。  
発電機能は追加されるが、入浴施設を運営するまでは難しい。  
汚染についてはもちろんないよう考慮される。

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 3：金ヶ崎周辺の整備について、誰のためのもので、目的はどうか。  
猛暑対策等はなされているのか。

回答 3：市民と観光客と両方である。整備されれば固定資産税も増えていくし、観光客が来てお金を使ったりすれば、それも市の収入につながる。それを医療や教育、福祉などに役立てていくという構図で理解いただきたい。  
猛暑対策についてもしっかりと議論されている。

【市立敦賀病院の経営について】

意見 1：市立敦賀病院の雰囲気が悪いから、それが経営に影響しているのではないか。

意見 2：市立敦賀病院が赤字だと強調されるが、あまり赤字と言い過ぎると、職員が委縮してかえって悪い影響が出るので、あまり言い過ぎるのは良くない。

【その他】

質問 4：気比の松原の管理について、観光案内所をもっと利活用できないのか。また、下草は生い茂っているし、夏の間、花城駐車場前は有料だが、それでも草は生え放題なので、もっと力を入れて管理してくれないか。

除雪について、地区により進捗や精度にばらつきがある。基準設けるなどなんとかならないか。

回答 4 : 一昨年の大雪の影響で松の木が多く折れてしまい、現在県も対応しているが追いついていないと聞いている。市としても引き続き対応はお願いしている状況である。除雪についても、年によって降雪状況が違うため難しい問題ではあるが、意見として届ける。

意見 3 : 議員からのハラスメントはもちろん良くないが、票ハラやカスハラなどもあり、そこに対しては議員としては毅然と対応しても良いのではないかと思うし、どこまでがハラスメントかという問題は難しいとは感じている。

(7) 令和 7 年 11 月 18 日 (火) 西公民館

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 1 : 今後いろいろな施設をつくっていくと、それなりに維持費がかかる。マイナスのお金をなるべく増やさないようにする施設の設計に取り組んでももらいたい。

回答 1 : 負の遺産にならないよう我々も注意したい。民間が建てる建物に対して県が 10 億円、市が 10 億円を交付して民間の投資を促そうということなので、行政の箱物ではない。

質問 2 : 民間開発エリアがずっと遅れている。4、5 年も前からやっているのに長過ぎると思う。オーベルジュやマルシェが撤退するかもしれない。そうなったときにどうするのか。市が一生懸命、今やっているという答弁は聞くが、果たしてこれでいいのか、すごく心配だ。

回答 2 : 民間開発エリアで前田建設工業とアクアイグニスのオーベルジュがうまくいかなかったとしても、金ヶ崎についてはいろいろな企業から引き合いがあって、今の計画が駄目になったらということは敦賀市もしっかりと考えていると聞いている。そこは引き続き、我々も監視していきたい。

【市立敦賀病院の経営について】

質問 3 : 嶺南地域の中核病院で、美浜町や若狭町からも救急搬送などで来ていると思う。よく知らないけれど、若干の経費の負担を求めるべきではないかと思う。応分の負担があってもいいのではないか。

回答 3 : 地域の中核病院なので、守っていかなければならない。若狭町と美浜町にどういふふう負担してもらっているかは、ちょっと頭に入っていない。負担が将来減っていくようなことを議会で審議していきたい。  
広域医療は県が考えているので、敦賀市と若狭町、美浜町だけの関係で、勝手にやるわけにもいかないと思う。敦賀市、県にも確認させてもらう。

質問 4 : 平成 28 年度から、地方公営企業法の一部適用が全部適用になって累積赤字をなくしたが、全部適用の今の形態のままで今後もいけるのか。職員もプロパー化すべきではないか。地方独立行政法人化も必要で、それなりの覚悟が必要だと思う。質問などでやってもらいたい。

回答 4 : 職員のプロパー化については、専門職でないと分からない部分があるので、100% やってもらうようにしっかり議論していきたいと思う。

意見 1 : 赤字が 10 億円だと説明を聞いたが、ある程度一般会計からの支出、補填を望む。赤字をなくしていくためのシステムづくりをお願いしたい。

【敦賀市議会ハラスメント防止条例について】

質問 5 : 敦賀市議会ハラスメント防止条例が制定されたが、市の職員たちにも絶えずアピールしてもらえればと思う。パワハラもセクハラもちよっとした気の緩みでそうになってしまう。そういったことがないように、議会としてにらみを効かせてほしい。

回答 5 : 敦賀市議会ハラスメント防止条例については、あくまで議員間同士、議員から職員への関係についてのみの適用で、職員間については理事者に聞いてもらいたい。受け止めた者が、ハラスメントと感じたことがハラスメントになってしまう。市議会では研修等を入れながらやっていくことを決めたので、それをしっかり認識しながらやっていきたい。

【その他】

質問 6 : 3 月に議員定数削減の要望が市区長連合会から出ている。それから 8 カ月。その間にどういう議論があったのか。

回答 6 : 議員定数の削減の要望については、日程調整で非常に遅れていて、12 月に報告させてもらう予定を伝えている。24 名から現在の 22 名に削減したときは、議会運営委員会を除く 3 常任委員会の議論をなるべく充実させるためには、最低でも 1 委員会あたり 7、8 名が妥当であろうという意見が大学教授からも出ていたので、1 委員会ギリギリ 7 名、3 常任委員会で 21 名。それに議長を加え、22 名という定数にさせてもらった。

質問 7 : 現在定数（22 名）が良いということだが、話し合いが、例えば議会運営委員会の中で進んでいるのか。週 1 回か、2 回やっているのか。

回答 7 : 新幹線開業後のまちづくりをどうしていくか。原子力の課題もあり、ほかの自治体とは違って課題が多い。22 人にしたばかりで今後やっていけるか。人口割で鯖江市議会と同じように 20 人くらいという話もある。いろいろ議会の中で話をしながら進んで来ている。

(8) 令和 7 年 11 月 19 日（水）東郷公民館

【新清掃センターの建設について】

質問 1 : 新清掃センターについて、後から硬い岩盤が出たというが、ボーリング調査が甘かったのではないか。

回答 1 : 事前の調査をしっかりとするには求めてきた。

【金ヶ崎周辺整備について】

質問 2 : 金ヶ崎整備について、市の負担が多いこと、新幹線開業に間に合っていない原因、進まない原因は。津波の問題があるのではないか。

回答 2 : 民間整備部分については民間の判断になるが、議会としても何度も問うている。公園部分は進んでいる。津波を想定して避難経路の確保や避難対応マニュアルを整備することを検討している。直ちに開発を止めるべきものでない。(ハザードマップを示しながら)

【市立敦賀病院の経営について】

質問 3 : 病院経営について、これまで黒字を実現できていた要因は。

回答 3 : コロナ禍からの受診控え、人件費の上昇などが現在の赤字の大きな要因であり、それらがなかったのは黒字の 1 つの要因。

意見 1 : 病院の経営は機材、医師の配置など、議会としてきちんとゴールを見据えて言うべきことを言ってほしい。

**【その他】**

質問 4 : 選挙から 2 年経つが、どのような結果を出したか。

回答 4 : 一般質問に限らず、みんな頑張ってきた。

質問 5 : 市議会議員は地域に顔を出しているか。

回答 5 : 地域ごとに出ている。

質問 6 : 各委員会に入っている議員は専門性を踏まえているのか。数合わせか。特に新幹線開業後まちづくり特別委員会は。

回答 6 : 会派ごとに分配している。新幹線開業後まちづくり特別委員会でも、専門家というほどではないが、強みや思いがある人が所属している。

意見 2 : 人口減少に対して計画策定を要求すべき。

意見 3 : 空き家対策が必要だと思う。市全体で空き家を調査すべき。

意見 4 : 議員から地域に顔を出してほしい。

(9) 令和 7 年 11 月 20 日 (木) 南公民館

**【新清掃センターの建設について】**

質問 1 : 新清掃センターの発電機の容量はどのくらいか。売電できるのか。

回答 1 : 清掃センターの発電容量は売電できるほどではなく施設の中での電力を賄うもので詳細は調べてお答えする。

**【金ケ崎周辺整備について】**

質問 2 : 金ケ崎は平面的でありランドマークが必要ではないか。現在の金ケ崎の発展は、神楽通り、本町通りの発展につながる。金崎宮までのエレベーターなどで人にやさしいまちづくりをすべきではないか。

回答 2 : 金ケ崎は、まだまだこれからということで、市民の皆さんの意見を幅広く募集しているところなので、参考にさせていただく。エレベーターについては、国定公園ということで設置するのは難しいが、確かに足の悪い方も楽しめる環境というのも必要だと思う。今後の開発の中で検討するよう要望する。

質問 3 : 金ケ崎城や玄蕃尾城など、敦賀の財産と言すべきものがあり、それらをもっと整備して PR すべきではないか。

回答 3 : 来年の大河ドラマでは豊臣秀長も登場する中で金ケ崎城や玄蕃尾城も登場するかもしれない。観光面での整備を貴重なご意見として理事者側に伝える。

【市立敦賀病院の経営について】

質問４：敦賀病院の赤字の原因は人件費か、患者が減っているのか。

回答４：敦賀病院の赤字の原因は診療報酬や医師、看護師などの人件費、さらには薬剤などの物価高騰である。コロナ禍で患者が減り、今も増えてはいるものの、コロナ禍前までの入院患者数や外来患者数に達していないのが現状。

質問５：市立敦賀病院を黒字化するためにはどうすればよいか。

回答５：病院事務局のプロパー職員の育成を一般質問で提案、質問させてもらった。そのほか、健診率を上げること、病床利用率を上げることなどしっかり注視していきたい。

【敦賀市議会ハラスメント防止条例について】

質問６：ハラスメント、いじめ防止については受け手も重要で、どう強くするか・敦賀市独自のものがあるのか。

回答６：本市もいじめ防止のための基本方針があり、独自のものは無いが具体的には学校、教育委員会、外部機関が連携強化して、いじめの早期発見と防止に注力している。受け手側の問題提起も大事であり、貴重なご意見として受け止める。

【その他】

質問７：敦賀市だけでなく、嶺南全域での周遊観光を考えて増やす方法を考えてはどうか。

回答７：意見をいただいたとおり、嶺南での周遊を考えて、例えば、嶺南のサイクリングルートなど嶺南広域行政組合議会の場を利用して意見提起を行っていく。

質問８：敦賀の高校の大学受験のレベルをアップすることはできないか。

回答８：福井県は高校の学校区の自由化で敦賀からも福井市の有名校に通っており、敦賀の高校でのレベルアップは気比高校などやっており、それ以上は難しいのではないかな。

質問９：区長連合会から議員定数削減が要請されているがどうか。

回答９：確かに要望書は受け取った。12月18日に区長連合会長に回答させていただくので、この場での回答は控える。

質問10：原子力について再稼働など議会の賛成、反対の対応は。

回答10：議会にも原子力発電所特別委員会があり協議させていただく。日本原子力研究開発機構のもんじゅやふげんも廃炉で縮小し、現在研究炉が開発中で、原子力発電所特別委員会で協議している。

3 議員からの反省点等

・参加者が少ないことから、各区長に個別に連絡するなど事前にPRをしたり、開催日時について検討をしたりすればよかったと思う。

・1会場あたりの参加人数が少なかったことで市民からの意見は出しやすかったと思う。身近に感じていただけるよう、会議室などで開催することを検討してはどうかと思った。

- ・会場設営等スムーズに出来た。
- ・一部の方からの質問が集中していたため、原則は1人1回でということをもう少し徹底すると、より多くの方の意見が聞けたのではないかと考える。
- ・ハラスメント防止や議員定数削減の話はよく話題に上がるので、議会全体に関わるようなトピックスは、議長、副議長及び司会進行で、事前に統一見解の原稿を持っていた方がいいかもしれないと感じた。
- ・開催の始めに議会報告会の終了時間を伝えていなかった。

4 アンケート結果  
別紙2のとおり。

以 上

敦賀市議会議長 浅 野 好 一 殿

令和8年1月27日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 大 石 修 平